

中央中学校だより NEXT 自立

未来科がスタートしました～未来を切り拓く力を育むために～

本校では、「**自立した学習者の育成**」を目指し、未来科の学習を進めています。未来科では、地域や社会、自分自身と向き合いながら、問いを立て、調べ、考え、対話し、発信する**探究的な学習**に取り組んでいます。

【7年生】

7年生は、「**自分たちの住む町を知ろう**」をテーマに学習を進めています。地域にはどのような施設や事業所があり、どのような役割を果たしているのかを調べる活動を通して、地域の魅力や特色を発見します。そして、調べた内容を仲間と共有し、自分なりに考えたことを発表することで、自分たちの町への理解を深めています。

地域について学ぶことは、単に知識を得るだけではありません。地域で働く人々や支え合う仕組みを知ること、「これからの自分はどのように社会と関わっていくのか」を考えるきっかけにもなっています。



【8年生】

8年生は、北九州市への郷土愛を育むことを目的として学習を進めています。**小倉城や周辺施設を訪れ、歴史や文化、観光資源など北九州市の魅力について学んでいます。**

また、今後訪れる修学旅行先である京都と比較しながら、それぞれの地域がもつ特色や魅力について考えています。自分たちの町を客観的に見つめ直すことで、北九州市の良さを再発見し、ふるさとへの誇りや愛着を育んでいます。



【9年生】

9年生は、未来科 金融教育を実施しました。

6月1日(月)、9年生の未来科において、日本生命保険相互会社の講師をお招きし、「**なりたい自分の実現に向けて何をするか考えよう!**」をテーマに金融教育を実施しました。

授業では、将来の夢や目標を実現するためには、お金を正しく理解し、計画的に活用していくことが大切であることを学びました。

生徒たちは、社会人として働いた給与から税金や社会保険料が差し引かれることを知り、実際に手取り額を計算しました。また、スマートフォンや光熱費、食費などの生活費を踏まえながら、毎月どのくらいのお金を貯蓄や将来のための資産形成に回すことができるのかを考えました。

さらに、自分の将来のライフプランを描きながら、進学や就職、結婚、住宅購入など人生の様々な場面で必要となるお金について考えるとともに、困ったときや悩んだときに相談できる人や機関につ



いても学びました。

また、資産系の方法の一つとして投資信託についても学習しました。投資信託とは、多くの人から集めたお金を専門家が運用する仕組みであることや、長期間にわたって、少しずつ積み立てることによって資産形成につながる可能性があることについて学びました。将来に向けてお金を「使う」だけでなく「貯める」「増やす」という視点についても理解を深めることができました。

今回の学習を通して、生徒たちは「なりたい自分」を実現するためには、夢や目標を持つだけでなく、自分の人生設計を考えながら計画的にお金と向き合うことの大切さを学ぶことができました。

本校では、「自立した学習者の育成」を目指し、これからも未来科の学習を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を育てていきます。正解が一つではない時代を生きる子どもたちが、自分らしい未来を切り拓いていけるよう支援してまいります。

情報モラル教室を実施しました。



5月22日、全校生徒を対象とした情報モラル教室を実施しました。講師として、KDDI 株式会社 九州総支社の菊武氏をお招きし、SNS やスマートフォンの利用におけるインターネットの特性について学びました。

講話では、ネットへの投稿が将来にわたって残ることや、スマートフォンの使い過ぎによる生活への影響、偽情報・誤情報の見分け方、肖像権やプライバシーの保護などについて動画を見て、具体的な事象を交えながら考えました。

また、大きな犯罪に巻き込まれる危険性についても学びました。

生徒たちは、便利なインターネットも使い方によっては自分や他者を傷つける可能性があることを理解し、情報を正しく判断し活用することの大切さを学びました。

今回の学習を通して、ネットへの投稿や情報の取扱いについて責任ある行動を心がけるとともに、自ら利用時間を管理しながら、安心・安全な情報社会の一員として行動できる力と態度を育む機会となりました。

文部科学省「AI パイロット校」としての取組について

本校は、文部科学省の生成 AI パイロット校として、小学校と連携しながら研究を進めてまいります。文部科学省も、次期学習指導要領改訂を見据え、情報活用能力の育成を重視しています。

これまで大切にしてきた心の教育や人権教育を土台にしながら、「未来科」を核として探究的な生成 AI を活用し、多様な見解を比較したり、情報を整理・分析したりしながら、



子どもたち自身が考えを深めていく学習を進めてまいります。また、生成 AI は、単に答えを得るための道具ではなく、「考えるためのツール」として活用していくことが重要です。子どもたちが主体的に学び、自ら課題を見つけ、他者と協働しながら未来を切り拓く力を育てていきたいと考えています。「子どもまんなか」の視点を大切にしながら、一人一人の可能性を伸ばす教育活動を進めてまいります。今後とも、本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。